

外国語一 7 (第3学年) 物語の概要や情報を聞き取り, 読むことにつなげる事例
【学習活動の概要】

1 単元名 「Let's Read 3 The Fall of Freddie the Leaf」

2 単元の目標

- 物語を読んで, 場面の移り変わりや登場人物の心情などを理解することができる。
- 物語の内容が聞き手に伝わるように感情を込めて音読することができる。
- 物語を聞いたり読んだりする活動や感想を述べ合う活動に積極的に取り組む。

3 評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・物語を聞いたり読んだりする活動や感想を述べ合う活動に, 積極的に取り組んでいる。

【外国語表現の能力】

- ・物語の内容が聞き手に伝わるように感情を込めて音読することができる。

【外国語理解の能力】

- ・物語を読んで, 場面の移り変わりや登場人物の心情などを理解することができる。

4 教材

The Fall of Freddie the Leafはリーディング教材であるが, 第3学年卒業前の最後の単元となるため, 既習事項を生かし, 「聞くこと」も関わらせながらこれまで培ってきた4技能を総合的に発揮させる学習を展開する。また, 物語のもつメッセージに気付かせるとともに, 生徒個々の考えを交流する学習活動とする。

5 主な学習活動

(1) 単元の展開 (全6時間)

	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第一次 本時	・教科書を見ないで物語を聞き取り, グループで交流しながら概要を把握する。	・音声情報に集中させ, 場面変化や人物の心情をイメージさせる。
第二次 (3)	・発問にしたがって精読し, 物語の内容を理解する。 ・まとまった英文を一定の速さで感情を込めて音読(暗唱)する。 ・読み取った内容をQ&Aで確認する。	・2時間で教科書2ページずつ(計6ページ)読み取り, 扱う英文の量を増やす。 ・「ことばの働き」に注意して読み取らせる。 ・既習の文構造等に注目させる。
第三次 (2)	・物語の感想文を英語で書き, 発表する。 ・発表に対して, 感想を述べ合う。	・相手意識をもって発表し, 聞く側も真剣に聞かせる。

(2) 本時の学習 (1/6時間)

目標: 物語の大まかな流れを聞き取り, 聞き取った内容を英語で説明する。

展開:

- ① A L Tが音読する物語を聞きながら, 登場人物, 場面等についてのメモをとる。
- ② グループ(4人)で聞き取った情報を交流しながら, 物語の流れを確認していく。
- ③ 再度物語を聞きながら, 1回目では聞き取れなかった情報を各自で補う。
- ④ 各グループで画用紙に物語の内容についての簡単なイラストを描き, 他のグループに英語で説明する。
- ⑤ 教師からの物語の内容についての質問に答える。
- ⑥ 教科書を黙読して内容(概要)を確認する。

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

学習指導要領 2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (イ) 「自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。」、(オ) 「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。」を取り上げて指導するものである。

【言語活動の充実の工夫】

リーディング教材は、「読むこと」を通して感じたり、考えたりしたことを共有し合うという言語活動に発展できるものである。本単元では、単元導入時に、はじめのインプット情報を音声に限定することで、生徒が物語の内容（概要）を集中して聞き取ったり、長い英文の中から必要な情報を取り出したりする Pre-Reading 活動を位置付けている。

耳から得た情報を基に物語の内容を想像させ、教科書を開いて読んでみたいという生徒の興味・関心を引き出す活動でもある。

実際の授業では、ALT の音読を聞き取ることとした。そのため、ALT との事前打ち合わせにおいて、感情を込めて音声化するには、という点で意識統一を図った。

○比較的長い英文から、登場人物、場面の移り変わり、心情などの情報を聞き取らせる

本単元は教科書 6 ページにわたる物語である。本時においては、聞き取りにより物語の詳細を理解させるのではなく、物語文を文字で読むときと同様に、「5W1H」を中心に聞き取らせることにより、最小限のメモをとりながら概要をつかませるよう指導した。

支援の必要な生徒については、個別に 5W1H などの聞き取りのポイントを与えて取り組ませるように配慮した。

未習語については、leaf-leaves など何度も繰り返し出てくる重要語句のみ、イラストと語句が書かれたカードを黒板に掲示して、理解の補助とした。

ALT が CD と同じ速さで本文を二度音読した。生徒は、日本語や英語でメモをとったり、矢印で登場人物の関係を示したりしながら、一人一人が集中して取り組んでいた。

○少人数のグループで、聞き取った情報について交流し合う

教科書を閉じさせたまま、4人グループで、聞き取った情報に基づいてお互いのメモの内容や考えを交流し、物語の流れを確認させた。聞き取った情報から、物語の展開を想像したり、誤って聞き取っている部分を修正したりすることができた。

次に、グループで4枚の画用紙に場面展開を表す簡単なイラストを描かせ、そのイラストを基にして他のグループに英語で説明する活動に取り組ませた。物語の内容を何とか相手に伝えようとする中で、既習事項が活用されるとともに英語を使う経験を増やす効果があった。

その後、教師が物語の内容について英語でいくつか質問をし、生徒の反応をとらえながら、正しく理解しているかどうかを確認した。この時点で大部分の生徒が物語の概要を把握していた。互いの発話の中で何度も英語を耳にしていることが効果的であった。

生徒も互いの発表を興味深く聞きながら、自分たちの物語と他のグループの物語を照らし合わせながら理解を深めていた。

○「早く読みたい」というタイミングでまとめの黙読に取り組ませる

音声のみで概要把握してきたことから、生徒は教科書を開いて早く読みたいという気持ちになっていた。物語に対しての興味・関心が高まったところで教科書を開かせ、学習のまとめとして黙読に取り組ませた。

静寂の中、生徒が英文を読むその姿からは、物語に没頭している様子が伺えた。音声インプットの後、文字（英文）でインプットしたことで、情報は確かなものになっていった。

単元の第1時に、「聞くこと」の活動を設定することにより、教材に対するモチベーションを引き出して学習に入ることは、効果的であった。第2時以降の学習に向け、生徒のコミュニケーションへの積極性が継続されることとなった。



聞き取った情報についてのグループ交流